

年	組	名前
---	---	----

全国子守唄サミット&フェスティバルin佐伯が、佐伯市の佐伯文化会館でありました。

胸をよぎる 母の思い出



全国子守唄サミットin佐伯

第26回全国子守唄サミット&フェスティバルin佐伯（大分合同新聞後援）が26日、佐伯市の佐伯文化会館であった。子守歌発祥の地の全国7市村が毎年持ち回りで開いている。佐伯市では市町村合併前の旧宇目町時代を含め4回目。

フェスティバルの開成式で西嶋泰義市長が「子守歌は母のぬくもりと愛情を歌ったもので心のふるさとともいえる。この文化遺産の保存、継承について考えよう」とあいさつ。サミット旗を来年開催地の静岡県沼津市の工藤達朗教育長に手渡した。

コンサートでは佐伯市宇目の「うめ『里若会』」や「元唄『宇目の唄げんか』保存会」の他、熊本県五木

↑宇目の唄げんかを披露する「うめ『里若会』」の会員。26日午後、佐伯市の佐伯文化会館

①「子守歌」とは、どんなときに歌った歌でしょう。

.....

.....

.....

.....

「文化遺産、継承しよう」

村、岡山県井原市などの保存会らが子守歌を次々と披露した。「伝統芸能の継承とまちづくりについて」をテーマにしたシンポジウムもあった。

その他、豊後高田市出身のシンガー・ソングライター今成佳奈さんのコンサートもあり、統廃合により本年度で閉校する佐伯市鶴見の吹小学校児童が特別出演。校舎に思いをはせた歌を披露すると、観客らから大きな拍手を受けていた。

サミットでは、それぞれの子守歌を継承しようとする「末永く後世に引き継ぎ、普及するために今後も連携を深め、地域に伝わる子守歌の保存、継承に努めていく」とする共同声明を採択した。

(2014年10月27日朝刊11面)

②佐伯市宇目の「宇目の唄げんか」は有名な子守歌ですが、なぜ「けんか」と名が付くのか、調べてみよう。

③出場した全国の子守歌も含めて、有名な子守歌を調べ、歌詞から感じたことを書いてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....